

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

くり返す子どもの痛みの理解と対応ガイドライン -小児心身医学会ガイドライン集 改訂第2版-

日本小児心身医学会

総論編 くり返す子どもの痛みの理解と対応ワーキンググループ総論班

(責任者: 石崎優子 関西医科大学小児科)

腹痛編 IBS ワーキンググループ

(委員長: 土生川千珠 国立病院機構南和歌山医療センター小児アレルギー科)

頭痛編 くり返す子どもの痛みの理解と対応ワーキンググループ頭痛班

(責任者: 永井章 国立成育医療研究センター総合診療部小児期・思春期診療科)

南江堂、2015年7月10日改訂第2版発行

■1 六君子湯、半夏厚朴湯、安中散、桂枝加芍薬湯（小建中湯）、半夏瀉心湯、大建中湯など

疾患:

胸部不快感を伴う上腹部痛

引用など:

- 1) 日本消化器学会 (編). 機能性消化管疾患診療ガイドライン 2014—機能性ディスペプシア (FD). 東京: 南江堂; 2014: 69-85.
- 2) 日本消化器学会 (編). 機能性消化管疾患診療ガイドライン 2014—過敏性腸症候群 (IBS). 東京: 南江堂; 2014: 60-84.
- 3) Devanarayana NM, Rajindrajith S, Benninga MA. Quality of life and health care consultation in 13 to 18 year olds with abdominal pain predominant functional gastrointestinal diseases. *BMC gastroenterology* 2014; 14: 150.

有効性に関する記載ないしその要約:

腹痛編の薬物療法の項に、下記の記載がある。

『胸部不快感を伴う上腹部痛には、H₂ 受容体拮抗薬や、プロトンポンプ阻害薬などの酸分泌抑制薬、モサプリドやコリンエステラーゼ阻害薬であるアコチアミドなどの消化管運動機能改善薬 (prokinetics) 、タンドスピロンなどの抗不安薬、六君子湯、半夏厚朴湯、安中散などの漢方薬の有効性が報告されています。(中略) その他、三環系抗うつ薬 (TCA) 、選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI) 、桂枝加芍薬湯とその類方 (小建中湯など) 、半夏瀉心湯、大建中湯などの漢方薬の有効性が報告されています。』

■2 安中散、半夏厚朴湯、半夏瀉心湯、六君子湯、人参湯、桂枝加芍薬湯、桂枝加芍薬大黃湯、小建中湯、大建中湯

疾患:

腹痛

引用など:

竹中義人, 村上佳津美. 子どもの心の健康問題ハンドブック. 平成 15 年度厚生科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業) 「小児心身症対策の推進に関する研究」班編. 2003: 65-70.

有効性に関する記載ないしその要約:

薬物一覧の表中の漢方薬の項に、それぞれの証・適応症、薬用量とともに複合的作用として下記の記載がある。

『月経痛改善: 安中散、不安障害の改善 (安心): 半夏厚朴湯、半夏瀉心湯、虚弱体質の改善 (滋養): 六君子湯、人参湯、桂枝加芍薬湯、桂枝加芍薬大黃湯、小建中湯、大建中湯』

<以上 1~2 の記載として>

備考:

一般的な痛みへの薬物療法の表中に、特異的な治療薬: その他の項に漢方薬の記載がある。